

野菜の生育状況及び価格見通し（平成26年6月）について
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 (だいこん、にんじん)	生育は、概ね順調。
葉茎菜類 (はくさい、キャベツ等)	生育は、概ね順調。
果菜類 (きゅうり、なす等)	生育は、概ね順調。 ただし、きゅうり、なすは、通常であれば、冬期間から6月末頃まで行われる群馬・埼玉県のハウス栽培において、2月の大雪に伴うハウス倒壊の被害を受け、一部で栽培できない状況。
土物類 (ばれいしょ、さといも、たまねぎ)	生育は、概ね順調。 ただし、さといもの貯蔵ものは、昨年夏の高温・少雨により小玉傾向。 たまねぎは、4月中旬以降の降雨とその後の気温上昇により病害発生。

（各論）

品目	主産県 ※()書きは 昨年6月の入 荷シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年比)	
			6月前半	6月後半
だいこん	青森(56%) 千葉(24%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	千葉(77%) 埼玉(10%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→

はくさい	長野(53%) 茨城(31%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
キャベツ	千葉(46%) 茨城(24%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ほうれんそう	茨城(27%) 群馬(24%)	・群馬県において、6月以降は遮光や、降雨による品質低下の防止を目的として雨よけハウス栽培に切り替わるが、2月の大雪に伴うハウス倒壊の被害を受け、一部で栽培ができない状況にある。 ・一方で、群馬県以外の産地では、作付拡大の意欲が高いため、 <u>出荷数量が増加</u> していることから、 <u>価格は概ね平年並</u> の見込み。	→	→
ねぎ	茨城(58%) 千葉(20%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
レタス	長野(75%) 群馬(19%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
きゅうり	埼玉(28%) 群馬(19%)	・通常であれば、冬期間から6月末まで栽培する群馬・埼玉県におけるハウス施設において、2月の大雪に伴うハウス倒壊の被害を受け、一部で栽培できない状況にあることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	↗	↗

なす	高知(28%) 群馬(18%)	<ul style="list-style-type: none"> 前半は、冬期間から6月末まで栽培する群馬県におけるハウス施設において、2月の大雪に伴うハウス倒壊の被害を受け、一部で栽培ができない状況にあるものの、主産地の四国、九州産地の生育は概ね順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 後半は、四国、九州産他の出荷が終盤となる中、出荷が本格化する群馬県では、引き続き一部で栽培できない状況にあることから、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。 	→	↗
トマト	栃木(24%) 茨城(14%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 	→	→
ピーマン	茨城(73%) 高知(5%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は順調であり、前半は、<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。 後半は、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 	↘	→
ばれいしょ	長崎(54%) 静岡(18%)	<ul style="list-style-type: none"> 生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 	→	→
さといも	鹿児島(45%) 宮崎(22%)	<ul style="list-style-type: none"> 出荷終盤の貯蔵ものについては、昨年夏の高温・少雨により、小玉傾向で残量も少ないことから、前半は、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。 後半は、主産地の生育が概ね順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。 	↗	→
たまねぎ	佐賀(55%) 香川(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 主産地において4月中旬以降の降雨とその後の気温上昇により病害が発生していることから、<u>出荷数量が平年を下回る</u>ため、<u>価格は平年を上回る</u>見込み。 	↗	↗